

学習指導要領の改訂に向けた動きなど  
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

# きょういく プレス

平成 28 (2016) 年 1 月 14 日

第 6 号

発行 桐ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail [Eigyo-edu@gyosei.co.jp](mailto:Eigyo-edu@gyosei.co.jp)

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供しています。

## 文部科学省

平成 26 年度公立学校教職員の  
人事行政状況調査委

## 体罰処分・精神疾患休業が依然 高水準。女性管理職割合は過去 最高

### ●体罰処分 952 人、待たれる実効策

平成 26 年度中に体罰により懲戒処分等を受けた公立学校教職員は 952 人。前年度を大幅に下回ったことが、昨年 12 月 25 日に文部科学省が公表した調査でわかった。前年度から約 3000 人の減少となったが、平成 24 年に起きた大阪市桜宮高校の体罰自殺事件をきっかけに全国で体罰に対しての大量処分が行われた平成 24 年度 (2253 人)、25 年度 (3953 人) の 2 年度が突出しており、それ以前の、平成 22 年度 (357 人)、23 年度 (404 人) に比べては減少しておらず、依然多くの処分者が出ていることが明らかとなった。以前に比べ、体罰に対する対応が厳しくなってきたとの見方もあり、一概に体罰事案が増加傾向にあるとは言えないが、山梨・奈良両県のように体罰処分者ゼロとなった県もあり、教育委員会のさらなる指導・支援策が求められるところだ。

体罰の具体状況などの調査では、体罰の場面につ

いては、「授業中」が 41%、「部活動」が 21%、「休み時間」が 11%。体罰の態様では「素手で殴る・叩く」が 55%、「蹴る・踏みつける」が 13%と続く。体罰事案把握のきっかけでは、「教員の申告」が 38%、「保護者からの訴え」が 35%、「児童生徒の訴え」が 26%などとなった。

### ●病休は依然約 5000 人で推移。女性管理職割合は前年度を更新

本調査では、教職員の精神疾患による病気休職者数は、5045 人 (前年度 5079 人)。平成 19 年度以降、毎年 5,000 人前後で推移していることもわかった。試し出勤など復職支援には都道府県・政令市全 67 教委が取り組み、復職後のフォローアップに取り組んだ教委も 53 となっている。

教職員の懲戒処分等については 9677 人 (前年度 9494 人)。わいせつ行為等による懲戒処分などを受けた者は 205 人 (前年度 205 人) となった。

女性管理職 (校長、副校長・教頭) の割合は、平成 27 年 4 月 1 日現在で 1 万 1083 人。前年度より 220 人増加。割合でも 15.7%となり、昨年度を抜いて過去最高となった。

育児休業を新たに取得した教職員は 1 万 6415 人。うち男性職員は 316 人。男性職員の新規取得率は地方公務員より低く、部分休業で高い傾向が見られた。育児休業調査は今回が初めて。

# スクールソーシャルワーカーなどの活用策検討で 初会合

12月17日、学校における教育相談等に関する調査研究協力者会議が第1回会合を開催した。座長には野田正人氏（立命館大学教授）を選出。子どもが抱える問題の多様化・複雑化、事件・事故などに関わる児童生徒の心のケアや貧困問題への対応などをテーマに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーのこれからの役割や関係機関との連携方策などについて検討を行う。

委員からは、スクールカウンセラーについて個人としての関わりだけでなく組織を背景にした活用策の検討や、「チーム学校」を踏まえたスクールソーシャルワーカーの活用といった多職種連携の発想からの検討が必要などといった意見が出された。

今後は関係団体へのヒアリングなどを通し、具体的検討に入り、今年度末までに中間まとめ、平成28年度に最終報告を出し、来年の予算要求につなげていく予定。

## 月刊シリーズ『新教育課程ライブラリ』（全12巻）

いよいよ刊行スタート—— Vol.1 1月18日発刊！



### Vol.1 もくじ

#### ■特集 新教育課程型授業を考える—アクティブ・ラーニングの理論と実践

##### ●解説

新教育課程がめざすアクティブ・ラーニングとは（田村 学）  
思考をアクティブにする授業とは（齊藤一弥）  
プロジェクト・ベース学習（PBL）とこれからの学習づくり（上杉賢士）  
アクティブ・ラーニングの指導案はこうつくる（藤村裕一）  
子どもたちが自分たちで創り上げていく授業（池田 守）

##### ●事例

高知県越知町立越知小学校・越知中学校、越知町教育委員会  
横浜市立白幡小学校  
福岡県春日市立春日東中学校  
横浜市立南高等学校附属中学校

##### ●提言

アクティブ・ラーニング型授業の始め方・学び方（小林昭文）

#### ■巻頭インタビュー

大谷徹英（法相宗大本山薬師寺執事）

#### ■連載

新課程を生かすカリキュラム・マネジメント（天笠 茂）  
「育ち」と「学び」をつなげる授業（奈須正裕）  
実践！アクティブ・ラーニング研修（村川雅弘）  
ミドルリーダーが創るこれからの学校（大脇康弘）  
学校改革の新定石（西留安雄）  
教育課程改訂の動向（文部省教育課程課）  
新学習指導要領に向けた指導の充実（教科調査官）

#### ■教育長インタビュー

家宇治正幸（福岡県糸島市教育長）

#### ■エッセイ 旅の mokumoku 玉手箱／ホンとの出会い／校長室の窓から

——ほか、充実のラインナップ

「新教育課程ライブラリ」については、本「ぎょうせいプレス」の最終面もあわせてご覧ください。

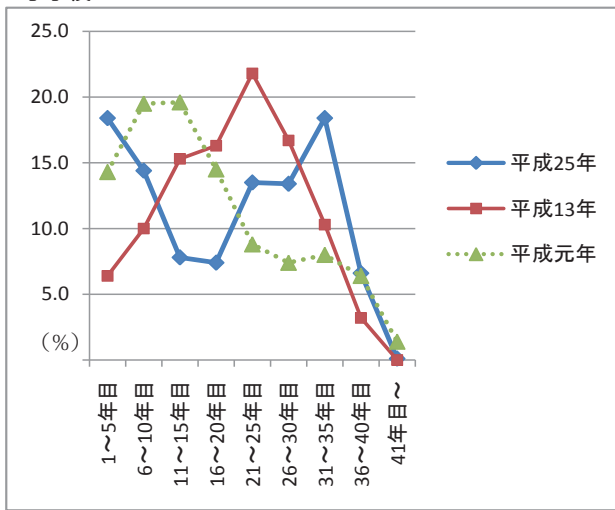
# 数字あっとランダム

「教員の経験年数の均衡が顕著に崩れ始めている。例えば、平成25年度の学校教員統計調査によると、……教えを請うべき経験の浅い教員よりも、それらの教員を指導し得るミドルリーダーとしての経験を有する教員の方が少ないという、少なくとも直近の30年間には経験したことのない状況である。」

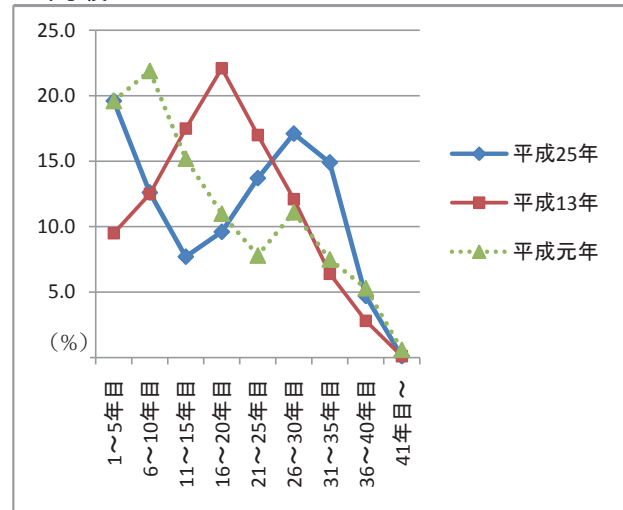
(平成27年12月21日中央教育審議会「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について(答申)」より)

## 勤務年数区分別の教員構成の推移

小学校



中学校



- 1月** ◆ 14日 南極大陸で1年間置き去りにされたカラフト犬タロとジロの生存確認(1959) ◆ 15日 いちごの日 ◆ 16日 禁酒の日/いろりの日 ◆ 17日 阪神・淡路大震災(1995) ◆ 18日 都バスの日 ◆ 19日 カラオケの日 ◆ 20日 アメリカ合衆国大統領就任式(4で割り切れる年の翌年) ◆ 21日 大寒(2016) ◆ 22日 カレーの日 ◆ 23日 電子メールの日 ◆ 24日 全国学校給食週間(～30日) ◆ 25日 美容記念日 ◆ 26日 文化財防火デー ◆ 27日 ホロコースト犠牲者を想起する国際デー(アウシュビッツ収容所解放、1945) ◆ 28日 スペースシャトルチャレンジャー号爆発事故(1986) ◆ 29日 人口調査記念日 ◆ 30日 西南戦争勃発(1877) ◆ 31日 愛妻の日/生命保険の日

### ●●○ 1/14～1/31 生まれの著名人 [敬称略] ○●●

**1月** 柴田理恵(14日)、北川悠仁[ゆず](14日)、キング牧師(15日)、樹木希林(15日)、堀内恒夫(16日)、池上季実子(16日)、坂本龍一(17日)、山口百恵(17日)、ビートたけし(18日)、ケビン・コスナー(18日)、ポール・セザンヌ(19日)、松任谷由実(19日)、有吉佐和子(20日)、南果歩(20日) 京本政樹(21日)、水樹奈々(21日)、椋鳩十(22日)、中田英寿(22日)、スタンダール(23日)、湯川秀樹(23日)、野際陽子(24日)、里中満智子(24日)、北原白秋(25日)、松本零士(25日)、盛田昭夫(26日)、所ジョージ(26日)、ルイス・キャロル(27日)、清水ミチコ(27日)、市村正親(28日)、三浦友和(28日)、アントン・チェーホフ(29日)、毛利衛(29日)、長谷川町子(30日)、稲盛和夫(30日)、大江健三郎(31日)、香取慎吾(31日)

今からできる、今からすべき「次の学びづくり」を強力にサポートします！

平成 28 年 1 月刊行ついにスタート！！

# 新教育課程ライブラリ

(全 12 巻)

ぎょうせい【編】、A4 判、表紙オールカラー、本文 96 頁（2 色刷り 16 頁／1 色刷り 80 頁）

- 特色①—次期学習指導要領を先取りキャッチ！
- 特色②—注目の教育課題を第一線の執筆陣が解説！
- 特色③—読みやすいワイド&ビジュアルな誌面！
- 特色④—“月刊”スタイルで旬の話題をお届け！

平成 28 年 6 月 30 日まで **セット特価 14,400 円 (税別)**  
[1 巻あたり 1,200 円 (税別)]

**セットで 1,800 円 (税別) お得!!**

通常セット定価 16,200 円 (税別) [1 巻あたり 1,350 円 (税別)] のところ、**特価**でのご案内です。

\*セット注文の場合：【送本】各巻発行のつど送本いたします。平成 28 年 1～12 月、各月中旬発行予定です。【請求】原則、初回送本時にセット一括でご請求(請求書類を同送)いたします。巻ごとの請求をご希望の場合はその旨ご一報ください。

- Vol.01 (平成 28 年 1 月配本) 新教育課程型授業を考える  
—アクティブ・ラーニングの理論と実践
- Vol.02 (平成 28 年 2 月配本) 学校現場で考える「育成すべき資質・能力」
- Vol.03 (平成 28 年 3 月配本) 子どもの姿が見える評価の手法
- Vol.04 (平成 28 年 4 月配本) 21 世紀型学力の育成と管理職のリーダーシップ
- Vol.05 (平成 28 年 5 月配本) 学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント
- Vol.06 (平成 28 年 6 月配本) 「チーム学校」によるこれからの学校経営
- Vol.07 (平成 28 年 7 月配本) これからの授業力と研修
- Vol.08 (平成 28 年 8 月配本) 特別支援教育の実践課題
- Vol.09 (平成 28 年 9 月配本) カリキュラムからみる不登校対応
- Vol.10 (平成 28 年 10 月配本) 全国学力調査にみるこれからの課題
- Vol.11 (平成 28 年 11 月配本) 「社会に開かれた教育課程」を考える
- Vol.12 (平成 28 年 12 月配本) 見えてきた新学習指導要領—各教科等の検討内容

**Vol.1  
1 月 18 日発刊！**  
(以降各月中旬発刊)

## ファンタジーマネジメント “生きづらさ” を和らげる対話術

小栗正幸【著】 A5 判・定価 (本体 2,000 円 + 税) **\*好評発売中！**

暴言、妄言、虚言。自分自身の問題に対処しきれず周囲を困惑させてしまう子どもや若者。そんな“生きづらさ”を抱える彼らをどう支援していくべきか？

- 「人を殺してみたかった」「将来は生活保護になるからかまってほしくない」「あいつが悪いから自分は暴力をふるうのだ」……。『ファンタジーマネジメント』とは、そうした誤った想念によって自らの課題を解決できない子どもや若者を対象にした、対話による解決法のこと。
- 「的外し」「切り返し」「傾聴」「説諭」など、様々な対応のテクニックから、対象者とともに問題解決を図る手立てまでを具体的事例に即して説明。生徒指導、教育相談、カウンセリングなど幅広い場面で活用できる書。

ファンタジーマネジメント  
“生きづらさ”を和らげる対話術  
小栗 正幸 著



編集 BLOG

●ご愛読ありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。●28年度内に予定されている指導要領改訂。中教審では、資質・能力の三つの柱「何を知っているか・何ができるか」「知っていること・できることをどう使うか」「社会・世界とどうかかわるか」を各教科でどう構造化するか議論中です。●中教審動向等のお役立ち情報を隔週でお届けする「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申し込みを受け付けています！右 QR コードから配信サービス登録サイトに簡単にアクセスしていただけます。ぜひお申し込みください。



●ご注文・お問い合わせ先

(株)ぎょうせい

フリーコール 0120-953-431  
フリー FAX 0120-953-495  
Web サイト <http://gyosei.jp>  
e-mail [Eigyedu@gyosei.co.jp](mailto:Eigyedu@gyosei.co.jp)

●取扱者